

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度実施事業 評価結果一覧

令和3年度第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等委員会（書面開催）において評価を実施しました「令和2年度実施事業の評価結果」については、次のとおりとなりました。

基本目標	総合戦略事業名	(参考) 内部評価結果	KPIに対する事業の効果		内部評価に対する評価	
			結果	内訳	結果	内訳
基本目標 1	エコノミックガーデニング推進事業	有効	有効	有効 15	適当	適当 15
				有効でない 0		適当でない 0
基本目標 2	観光推進事業	有効	有効	有効 14	適当	適当 13
				有効でない 1		適当でない 2
	タウンセールス推進事業	有効	有効	有効 15	適当	適当 14
				有効でない 0		適当でない 1
基本目標 3	結婚・出産・子育て環境整備事業	有効	有効	有効 14	適当	適当 14
				有効でない 1		適当でない 1
	家庭教育推進事業	要改善	有効	有効 13	適当	適当 15
				有効でない 2		適当でない 0
	学力向上推進事業	有効	有効	有効 14	適当	適当 14
				有効でない 1		適当でない 1
	子育て応援環境整備事業	有効	有効	有効 13	適当	適当 13
				有効でない 2		適当でない 2
基本目標 4	安心なまちづくり整備事業	有効	有効	有効 15	適当	適当 15
				有効でない 0		適当でない 0
	若者参画推進事業	要改善	有効	有効 13	適当	適当 15
				有効でない 2		適当でない 0
	公共交通環境整備事業	有効	有効	有効 15	適当	適当 14
				有効でない 0		適当でない 1

各事業に関する意見一覧

エコミックガーデニング推進事業

▼この事業について、基本目標に示した取組は非常に良いことと思います。この中で、1の商工業支援プログラム推進事業については、主に工業中心で商業的内容が見えない。2の企業立地促進事業においても支援セミナーや相談だけでなく、新規創業希望者を県内外から集め育成するPRが必要と思う。町内の商工業者に対する実態調査（アンケート調査）で見えてきた課題、内容を整理して、町としてどう打ってでるか検討すべきではないか、これが戦略では。

▼コロナ禍の難しい環境において、KPIで一部項目は目標指標数値を下回ったものの、頑張れた結果が表れている拝察いたします。まだまだ自社の営業活動に追われている企業がほとんどであり、支援事業・補助金事業等の取り組みが可能かどうかを事業者の目線に入れられるよう周知する必要はあると考えます。

観光推進事業

▼観光振興推進事業について、新型コロナウイルスによる各種イベントの中止は理解できるが、既存事業のPRだけでは観光振興に繋がらない。定住促進を踏まえた、思い切った新たな事業の創造・発掘・発展計画を創出すべきと思う。

▼1. 実績値がやや体感的におかしい気がする。初詣客の減少分を加味しても、H26基準値と同等、とはR2年度は考えにくい。2. 対外向け成果が現状インバウンドが期待できないguidoorのみ、というのが実施方向として、コロナ対応の切り替えができていないのでは？

▼H27年以降、目標値を実績値が上回っていないにもかかわらず「取り組みは有効」と評価しているのはなぜか？ノベルティを配るのは観光客増の手段であり、配布が目的化しないための取り組みを追加すべき。グッズやノベルティをうけとった人向けのアンケートをQRコードを入れて実施するのはどうか。

▼一定の効果はあったと考えます。コロナ禍の中で、インバウンド観光客が減少する中での「多言語情報サイト」への掲載がベストだったかは検討が必要。Guidoor→HPへの流入数も把握したい。※寒川町のHP（リンク先）に飛ぶと「ページが見つかりませんでした」となります。

▼新型コロナウイルスの為、オリンピック選手をイベント等で盛り上げられなかったのが残念です。

タウンセールス推進事業

▼移住定住促進について、本当に良いことなのか、疑問を感じる。3、40代の子育て中の世帯が増加傾向にあると記載されているが、世代間ギャップで地域になじまない世代が多く入ることで、これまで作り上げてきた地域の文化やコミュニティが崩壊していくようにも思われる。地域文化を理解し大切にしたい誘導施策が必要と思う。

▼1. 「高座のこころ」の町民展開運動が現状空回りの状況で、ハードのみが先行しているために町民全体を巻き込めるような取り組みが必要。と共に、「高座のこころ」に対する関係各所との連携不足&協働体制の構築が課題。2. KPIが取り組み事業件数となっているので、中身に対する評価が不透明となっている。3. 一見、相反する施策があるため、同一の戦略で扱うべきか一考の余地があると思います。

▼「交付金に係るKPI」において目標数値を大幅に上回る実績が上がり、喜ばしいことと思料いたしますが、数値だけを鵜呑みにすることなく、「寒川町の魅力発信策」をより推進されるようお願いしたいと考えます。現状の人口増加は寒川町内における宅地分譲化の進捗がここ数年で一段と進んだことが直結していると思われ。これは、年代的なものから相続等が多く発生している結果とも考えられ、町主導の政策が主要因で宅地化が進み、結果人口増に繋がっていると理解・慢心せずに、若年層に向けての魅力発信をより拡充する必要性はあると考えます。

▼オリンピック選手が2名いましたが、多くの世代の方に知ってもらい応援してもらおう為、スーパーやコンビニ等ポスターを貼ったりして盛り上げられたらよかったですと思いました。感心度が低かったように思います。湘南の一部として、便利で住みやすさをもっとメディアに取り上げられる方法はないのかと思います。町民が寒川の事をもっと知ること、外部にも伝わっていくのではないかと思います。

結婚・出産・子育て環境整備事業

▼1件、町長への手紙で保育園の待機児童について取り上げがあったが、待機児童解消&保育環境の整備については、可能な限り細やかなニーズに対応出来るようにしていただきたい。また、最近ではわずかながらも夜間保育のニーズも必要では？との声も聞き及ぶことがありました。

▼「不育症治療費助成事業」＝予算額200,000円に対し、23,000円に留まっているのは、周知不足なのでしょうか？手続きが煩雑なのでしょうか？要因を把握した方が良いと考えます。項目外と思いますが…先日『寒川唯一の出産施設である「木島医院」が分娩病棟を廃止した』との記事を拝見した。一医院の事業である為致し方ない部分と考えますが、「結婚出産子育て環境整備事業」を掲げる町として、町の魅力を維持する為にも「安心して出産できる町」の維持・推進を、今後強化する必要性があると考えます。

▼寒川町での出産できる産科がなくなってしまったのが残念です。共稼ぎが多くなった中、待機児童数に関して保育園だけでなく学童保育（隠れ待機を含む）も扱っていただきたい。保育園3学年分の学童の定員がない現状、入所したくてもできない方が多い。定員が少ない為、現在小谷小はとても狭く、このコロナの中、いつクラスターが起きても不思議ではない現状です。町長に視察して頂きたい。

家庭教育推進事業

▼無知かもしれませんが、家庭教育推進事業を総合戦略に取り入れた背景についてお聞かせ願いたい。この事業の目指すべき基本的方向の内容を見ますと、(PTA)等教育関係団体が主体となるべきではないかと思うが、どこにも記載されていない。また、取組の課題として学校、家庭、地域、行政とあるが、地域は何を目指しているのか、過去には、家庭教育の基本は家族(親・子ども)での健全育成を育むもので、主体は行政が指導育成を図っていたが、時代の変化で主体が見えない。

▼「学校・家庭・地域全体」で子どもを育て見守る環境というが、体現するのはかなり高度なミッション。実現に向けて公民館や図書館といったかまいった施設だけでなく、例えばスポーツチームなどをまきこみ、「学業とスポーツの両立」を条件に助成するなど、公共施設に足を運ばない層にもアプローチしてはどうか。

▼各校に外国人の先生が配置された事で英語教育を高める事業が多くなることを望みます。中学3年生で英検3級の取得が多くなる事の為に、コロナの影響で充実した取り組みができなかったことは残念です。また、コロナ禍により家で過ごす子供のゲーム依存が進み、親が制御しきれず問題化している家庭も出てきているようです。また、そうした影響が学校の授業にも注意力の散漫化などとなって表れているようです。何らかの対策が必要と思われまます。

学力向上推進事業

▼取組課題で、教職員の人材確保を上げているが、総合戦略で思い切った民間講師の活用や採用を取り入れることも視野に、戦略を練る必要があるのでは。また、教育委員会が教職員確保に向けた学力施策方針を打ち出し、反映させるべきではないか、課題を総合戦略化しても何も変わらないと思う。

▼取り組みは有効ではなく、内部評価も適当ではない。中学校での目標達成は、単に通塾率の高さの問題ではないか。もともと通塾率の低い小学校で目標を達成することが重要。少人数学習推進事業の完全実施が求められる。

▼全国学力テストにおいて算数は神奈川13位、国語は34位(下位3番目)。寒川は県下においてもレベルが下の方です。国語力は全ての教科に通じる教科です。難しいですが、対策が必要と思われまます。また、現在タブレット端末を活用した授業が始まっていますが、タブレットの利点を活用した教育カリキュラムやオンライン授業の実施、プログラミング教育の推進に取り組む必要があると思われまます。

子育て応援環境整備事業

▼子育て支援団体への支援があるが、町民協働課又は社協ボランティアセンターも関係課に加えて、金銭面だけでなく、様々な手法で地域で支援する体制にしてみてもは？

▼取り組みは有効ではなく、内部評価も適当ではない。達成率60%で達成したと評価してよいのか。この分野は取組主体の本気度が如実に表れる分野。4年連続未達成は「要改善」と認識すべき。施策の中身より意識に問題がある。

安心なまちづくり整備事業

▼空き巣、自転車盗、ひったくりの発生件数が令和2年度減少しているが、なぜか、また町内全域に防犯灯の設置が進んでいる中では、一定の防犯抑止力になっているが、この発生件数で検挙者数はどのくらいか、今後、県の方針で交番や派出所等が省略化され、安心なまちづくりと言っているが、どこが担うのか疑問である。また、地域全域の犯罪が起こりそうなカ所に防犯カメラを設置していく方向を検討すべきではと思う。ちなみに防犯カメラは町内に何カ所設置しているか。

▼最近寒川駅周辺では、軽犯罪が増加していると聞き及んでいます。当支店にも「防犯カメラ」が設置されている為、警察からの協力要請が増加していることも事実です。寒川町は夜間において比較的くらい場所が多く存在するので、防犯灯の設置や切替を推進して頂くと同時に、防犯灯の設置箇所を増設したり、防犯カメラの設置・増設を推進するように提言したいと存じます。

若者参画推進事業

▼若者参画推進事業について、新たな視点で非常に良いと思う。他の市でも行っているが、40歳代までの男女で、町内在住歴5年刻みで40年までの方々を対象に、町の将来について意見交換し、実行に移していく事業を展開しては。現在、寒川駅前周辺では、空き店舗等が目立ち中心市街地の活性化が失われつつあるので、町中カフェ等を設置し、子育てから就労、個人事業主創出の支援化に至るまで、相談出来る場所等ができた方が良いと思います。

公共交通環境整備事業

▼現在行っている事業については、継続して進めていくべきと思う。ただし、目指すべき基本的方向の末尾で、より快適な交通環境の実現とあるが、町内の、全ての県道が近年、時間帯によって渋滞が発生しているので、渋滞解消に向けた快適な交通環境施策を凶っていただきたい。駅のバリアフリー化だけではあまり意味はないのでは。公共施設をはじめ道路等も含めてバリアフリー化を目指す計画が必要と思う。

▼「もくせい号」の利用者増へ向けた取組については、確かにコロナの影響もあったが、利用者のニーズの取り込み等、現状をしっかりと分析し、それに応じた対応が必要であると考えている。

▼1. 設備バリアフリー化で問題はなくなりつつも、寒川駅も一部無人時間が発生し、現状として車いすでの利用時間に制限がある状況（宮山・倉見は終日無人のため前日までに連絡）の解消が今後は必要。2. コロナ禍が追い打ちをかけ、既存バス路線も減便の勢いが凄まじく、公共交通の総合的な利用促進が必要な状況となっている。

その他全般的な意見

▼今年度、寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の外部委員会委員として、委嘱を受け、コロナ禍において委員として関わりを持ちましたが、そもそもの具体的説明等もない中で、評価をさせていただいたので、実施事業評価ができるのか自問しております。全体的に見て、各事業ともコロナ禍での対応で事業を進められているが、10数項目の寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略が一つ一つ連携した総合戦略になっていないように思われるため、より可視化した事業にシフトしていく様に思います。今後、町の将来像とどのような関わりが出てくるのか注視して、事に当たりたいと思います。なお、この事業は2014年に地方創生が始まって以来、全国的に各自自治体が行っていることだと思います。しかし、この2年コロナ禍により、政治、経済、社会がどう変化していくのか未知数であり、本事業についても大きな変化をもたらすのではないかと心配であります。

▼全般的な意見として、コロナショックの中、概して取り組みは順調であり、結果も示されていることから、町の姿勢を高く評価したい。また、個人的意見であるが、関西在住の委員として、最近寒川町の名前を少しずつ聞くことが増え、嬉しい限りである。大変な時期だからこそ、着実な取り組みが望まれていると思う。